

事務事業コード	730311	事務事業名	法外援護災害救助事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	政策グループ
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	7	災害復旧対策の推進		内線番号	2021
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 31 年度~)
	項	4	災害救助費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	災害救助費	根拠法令・条例等	霧島市法外援護災害救助条例
	コード	730311			
関連計画					

1.現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
市内に住居を有する市民が、災害救助法の適用基準に達しない火災その他の天災地変等により、人命及び住家に損害を受けたときは、次のとおり災害見舞金を支給している。			事務事業の概要と同様				
・死亡者があった場合・・・1人につき100,000円 ・住家が全焼、全壊等の場合・・・1世帯につき50,000円 ・罹災による著しき負傷者・・・1人につき30,000円 ・住家の半鐘半壊・・・1世帯につき30,000円 ・住家の一部類焼・・・1世帯につき10,000円			平成22年度計画				
			前年度と同様				
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	見舞金支給件数	件	15	18	15	15	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	災害救助法の適用基準に達しない被災者及びその遺族	見舞金支給件数	件	15	18	15	15
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	被災者への生活支援及び精神安定の一助となる。	見舞金支給件数	件	15	18	15	15
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	日常的な生活を送ることができる	復旧率	%	100	100	100	100
イ							

(2)事業費

単位:千円

(3)事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	4,500	22年度 (予算)	980	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額		0				
	予算合計		4,500		980		
決算額	国庫補助金		0			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		790				
	支出合計		790				
						(被災者からの要望)	特になし。
						近隣に親族等がない被災者から、一時的な住居を確保してほしい旨の要望がある。	

事務事業 コード	730311	事務 事業名	法外援護災害救助事業				担当部	保健福祉部		
							担当課	保健福祉政策課		

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費	790		790	980		980	980		980
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	790		790	980		980	980		980

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	790		790	980		980	980		980
計	790		790	980		980	980		980

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成 21 年度	当初予算	4,500 千円		
	補正予算			
	第1回 (6月)		第5回	
	第2回 (9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	4,500 千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	被災者への生活支援及び精神安定の一助であり、日常的な生活を送ることができるようになることにつながるものである。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	被災者への生活及び精神安定を確保するため、市が見舞金を支給することは、市民の理解を得られると思われる。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、市内の全被災者及びその遺族であるため、適切である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	被災者への見舞の気持ちりが十分伝わっていると思われる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	廃止した場合、被災者の当面の物資の購入等が困難になる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自然災害はいつどこで起こるか分からないため、事業費の削減は難しい。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本庁及び各総合支所が連携して見舞金を支給しているため、これ以上の業務時間削減の余地はないと思われる。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	対象は、市内の全被災者及びその遺族であるため、公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  被災者への生活及び精神安定の一助となっているため、適切な事務事業である。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	730110	事務事業名	健康福祉まつり開催事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		グループ	政策グループ
施策名	2	健康づくりの推進		電話番号	45-5111
基本事業名	1	市民の健康意識の向上		内線番号	2021
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 19 年度~)
	項	1	社会福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	社会福祉総務費	根拠法令・条例等	霧島市健康福祉まつり実行委員会規約
	コード	730110			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p><b>手段</b> (事務事業の概要)</p> <p>平成21年度に医療及び福祉関係等の団体で構成する「霧島市健康福祉まつり実行委員会」を設立し、霧島市との共催により、市民の健康づくり並びに福祉の推進のため、市民総ぐるみの啓発活動を実施することを目的として健康福祉まつりを開催した。</p> <p>【第1会場】霧島市民会館                      ○時間・・・9:45～13:00                      ○内容・・・①表彰②健康及び福祉に関する事例発表③認知症に関する寸劇④講演会(講師:大山のぶ代氏、演題:「いきいき健康人生アレコレ」)</p> <p>【第2会場】国分シビックセンター                      ○時間・・・9:00～15:00                      ○内容・・・健康及び福祉に関するコーナー、ヨガ教室、鍼灸マッサージ、子ども用アニメの上映、100円茶屋、スタンプラリー抽選会 等</p>								
補助金・負担金の交付先	霧島市健康福祉まつり実行委員会		補助金の対象経費	霧島市健康福祉まつり実行委員会の運営及び活動に要する経費				
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	来場者数(延人数)	人		2,500	3,800	4,000	4,200	
イ	参加団体数	団体		26	31	32	33	
ウ								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	市民	市民	人	127,450	127,662	128,640	128,868	
イ								
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	健康及び福祉に関する意識が向上する。	健康及び福祉への関心が高まった市民の数	人	2,500	3,800	4,000	4,200	
イ								
ウ								
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける。	栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%	20.6	20.0	26.0	28.0	
イ								

<b>(2) 事業費</b>			<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>			
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？		
予算額	当初予算額	2,264			合併後のイベント調整会議において、社会福祉大会と健康大会を統一し、平成19年度より開催。 平成21年度に実行委員会を設立し、市と共催で開催。	特になし。
	補正予算額					
	予算合計	2,264				
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金					
	地方債		(来場者からの意見) 一般の来場者が気軽に来場できるような雰囲気を作り出してほしい。	国分地域外における開催を検討できないか。		
	その他					
	一般財源	2,061				
支出合計	2,061					

事務事業 コード	730110	事務 事業名	健康福祉まつり開催事業						担 当 部	保健福祉部
									担 当 課	保健福祉政策課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名								平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	霧島市健康福祉まつり実行委員会								補助金	2,061	補助金	1,838	補助金	1,838
								自主財源	10	自主財源	10	自主財源	10	
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	2,071	合計	1,848	合計	1,848
	●								自主財源率	0%	自主財源率	1%	自主財源率	1%
2									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10									補助金		補助金		補助金	
								自主財源		自主財源		自主財源		
対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計									補助金負担金合計	2,061	補助金負担金合計	1,838	補助金負担金合計	1,838
									自主財源合計	10	自主財源合計	10	自主財源合計	10
									自主財源率	0%	自主財源率	1%	自主財源率	1%

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名		負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
							全国	九州	県	その他
1			負担金額							
2			負担金額							
3			負担金額							
4			負担金額							
5			負担金額							
			合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	2,264
補正予算	
合計	2,264

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の健康増進及び福祉の啓発を目的とするので、基本事業の意図に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民の健康増進及び福祉の啓発は、行政の責務である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象が全市民であるため、限定又は追加の余地はない。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市民参画型のまつり形態を実現することにより、より多くの市民の参加が見込まれるため。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金の廃止により、開催不可能になると思われる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 他の市主催イベントとの統合
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	著名講師による講演会等実施方法の検討
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	出展団体からのボランティア等により、市職員の負担軽減を実現させることは可能である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	全市民を対象としているので、公平公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	(有効性) 市民参画型のまつり形態を検討することにより、より多くの市民の参加が見込まれる。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	(効率性) 他の市主催イベントとの統合	
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容
市民参画型のまつり形態について、実行委員会において検討を行い、より多くの市民が参加するよう積極的な広報活動を実施する。	市類似イベントとの統合を検討する。

事務事業コード	730111	事務事業名	遺族会連合会支援事業	担当部	保健福祉部
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		担当課	保健福祉政策課
施策名	3	地域福祉の推進		グループ	政策グループ
基本事業名	2	地域住民による支えあいの推進		電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 — 不明)
	項	1	社会福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	社会福祉総務費	根拠法令・条例等	なし
	コード	730111			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

遺族の連帯とその活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動を推進するものである。  
 市が交付する補助金は、霧島市遺族会連合会の運営補助金として同会の活動に係る経費の一部として使用されている。  
 同会は、戦没者の遺族(父母、妻、兄弟、遺児)で構成する任意団体であり、市主催の慰霊祭及び追悼式並びに県主催の慰霊祭等に参加している。

補助金・負担金の交付先	霧島市遺族会連合会		補助金の対象経費	霧島市遺族会連合会の運営及び活動に要する経費				
活動指標 (事務事業の活動量)			単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	各慰霊祭、追悼式に参加した人数		人	242	200	200	200	
イ								
ウ								
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	霧島市遺族会連合会		霧島市遺族会連合会の会員数	人	587	476	450	425
イ								
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	慰霊祭・追悼式等の活動が継続できる。		各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	242	250	250	250
イ								
ウ								
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア	支えあい活動を行う		支えあい活動に参加した市民の数	人	15,260	16,069	13,830	13,830
イ								

(2) 事業費 単位：千円

	21年度 (決算)	22年度 (予算)
予算額		
当初予算額	388	315
補正予算額		
予算合計	388	315
決算額		
国庫補助金		
県支出金		
地方債		
その他		
一般財源	388	
支出合計	388	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
市主催の慰霊祭及び追悼式並びに県主催の慰霊祭等に参加するため。	高齢のため、年々会員数が減少している。
この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見
特になし。	特になし。

事務事業 コード	730111	事務 事業名	遺族会連合会支援事業	担 当 部	保健福祉部
				担 当 課	保健福祉政策課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象 地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市遺族会連合会									補助金	388	補助金	315	補助金	315
										自主財源	192	自主財源	235	自主財源	235
										合計	580	合計	550	合計	550
									自主財源率	33%	自主財源率	43%	自主財源率	43%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
										合計		合計		合計	
									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									補助金負担金合計	388	補助金負担金合計	315	補助金負担金合計	315	
									自主財源合計	192	自主財源合計	235	自主財源合計	235	
									自主財源率	33%	自主財源率	43%	自主財源率	43%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
													全国	九州	県	その他	
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
									合計								

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	388
補正予算	
合計	388

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			



事務事業コード	730111	事務事業名	遺族会連合会支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	戦没者遺族の福祉の増進、平和の維持等に貢献するものであるため、基本事業の意図に結びつくものである。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	遺族等の思いを考慮すれば、市が一定の補助をする事は適当であると思われる。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現行のとおり。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	現行のとおり。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	遺族等の思いを考慮すれば、市が一定の補助をする事は適当であると思われるため、補助金を廃止すべきではないと思われる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	会員数の減少に伴い、市の負担は減少するが、会員1人あたりの補助額を下げた運営することは難しい。(補助金額=@660円×会員数)
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に係る人件費は、補助金交付・精算のための人件費であり、必要最低限な事務である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	同会は、戦没者の遺族(父母、妻、兄弟、遺児)が会員となっている任意団体であり、受益者に偏りは無い。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 戦没者遺族は高齢化し、減少しているが、遺族の連帯とその活動を補助することにより、会員の福祉の向上及び平和活動の推進につながることから、適切な事務事業である。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	730112	事務事業名	社会福祉協議会運営支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		グループ	政策グループ
施策名	3	地域福祉の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	2	地域住民による支えあいの推進		内線番号	2021
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	社会福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	社会福祉総務費	根拠法令・条例等	なし
	コード	730112			
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<p><b>手段</b> (事務事業の概要)</p> <p>社会福祉協議会の運営費補助金として補助金を交付する。</p> <p>(社会福祉協議会の活動内容) 霧島市における社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動(ボランティア活動、相談事業等の各種事業)の活性化により、地域福祉の増進を図る。</p>								
補助金・負担金の交付先	霧島市社会福祉協議会		補助金の対象経費	霧島市社会福祉協議会の運営及び活動に要する経費				
<b>活動指標</b> (事務事業の活動量)			単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	社会福祉協議会ボランティア登録団体数		団体	116	115	120	125	
イ	ボランティア活動参加人数(社会福祉協議会登録者)		人	3,460	4,383	4,500	4,600	
ウ								
<b>対象</b> (誰、何を対象にしているのか)		<b>対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	霧島市社会福祉協議会		霧島市社会福祉協議会会員数	人	33,500	33,024	33,200	33,500
イ								
<b>意図</b> (対象をどうしたいのか)		<b>成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	社会福祉協議会の組織体制、活動の強化を図られる。		社会福祉協議会ボランティア登録団体数	団体	116	115	120	125
イ			ボランティア活動参加人数(社会福祉協議会登録者)	人	3,460	4,383	4,500	4,600
ウ								
<b>結果</b> (どんな結果に結び付けるのか)		<b>上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)
ア	支えあい活動を行う		支えあい活動に参加した市民の数	人	15,260	16,069	13,830	13,830
イ								

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度(決算)	63,500	22年度(予算)	61,353	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
	補正予算額						
	予算合計	63,500	61,353	平成17年の霧島市社会福祉協議会の発足に伴い開始された。	特になし。		
決算額	国庫補助金			この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	この事務事業に対する議会から出された意見		
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	63,500				特になし。	特になし。
支出合計	63,500						

事務事業 コード	730112	事務 事業名	社会福祉協議会運営支援事業	担 当 部	保健福祉部
				担 当 課	保健福祉政策課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	補助金	63,500	補助金	61,353	補助金	61,353	自主財源	11,433	自主財源		21,422	自主財源	21,422			
霧島市社会福祉協議会										合計	74,933	合計	82,775	合計	82,775	
	対象地区	●									自主財源率	15%	自主財源率	26%	自主財源率	26%
2										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
3										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
4										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10										補助金		補助金		補助金		
	対象地区										自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計											補助金負担金合計	63,500	補助金負担金合計	61,353	補助金負担金合計	61,353
											自主財源合計	11,433	自主財源合計	21,422	自主財源合計	21,422
											自主財源率	15%	自主財源率	26%	自主財源率	26%

負担金の状況

単位：千円

1	団体名・協議会名			平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先				
	負担金額						全国	九州	県	その他	
2				負担金額							
3				負担金額							
4				負担金額							
5				負担金額							
				合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	63,500
補正予算	
合計	63,500

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域福祉の推進、市民福祉の向上は市の施策体系に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会福祉事業の発展、市民福祉の向上を図るため、市の補助は適切であると思われる。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民福祉の向上を図る活動等を行っている社会福祉協議会への支援であるため、対象を追加すべきではない。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	地域福祉の推進にともない、ボランティア活動参加人数の増加が見込まれる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	地域福祉の推進等に支障があるため、補助金の廃止は困難である。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	社会福祉協議会の運営に支障があるため、補助金の削減は困難である。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に係る人件費は、補助金交付・精算のための人件費であり、必要最低限な事務である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	同会は地域に根差した福祉活動を行っているため、公平・公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  社会福祉協議会は、地域福祉の推進及び市民福祉の向上のため、密接に行政と関わり、両者は連携して事業を進めていかなければならないため、適切な事務事業として評価できる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	
<b>(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか</b>	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果 地域福祉の推進を図るべく、社会福祉協議会と連携して、ボランティア登録への啓発活動を積極的に実施する。	平成23年度に取り組むべき具体的な内容 同左

事務事業コード	730113	事務事業名	傷痍軍人会運営支援事業	担当部	保健福祉部
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		担当課	保健福祉政策課
施策名	3	地域福祉の推進		グループ	政策グループ
基本事業名	2	地域住民による支えあいの推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2021
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 — 不明)
	項	1	社会福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	社会福祉総務費	根拠法令・条例等	なし
	コード	730113			
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

傷痍軍人会員の団結を強固にし、親睦と福祉を図るとともに円満な家庭と平和な社会を築くことを目的とし、市、県及び全国の慰霊祭、追悼式関係事業に参加する。  
 市が交付している補助金は、傷痍軍人会の活動に係る経費の一部として使用されている。  
 なお、組織の構成は、市内に居住している傷痍軍人及びその妻であるが、現在、活動している団体は次の3団体である。

国分傷痍軍人会・・・43人  
 横川傷痍軍人会・・・17人  
 霧島傷痍軍人会・・・18人

補助金・負担金の交付先	霧島市傷痍軍人会	補助金の対象経費	霧島市傷痍軍人会の運営及び活動に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)	
ア 各慰霊祭、追悼式に参加した人数	人	242	200	200	200	
イ						
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 霧島市傷痍軍人会	霧島市傷痍軍人会の会員数	人	122	96	75	50
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 追悼式等の活動が継続できる。	追悼式に参加した人数	人	122	96	75	50
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 支えあい活動を行う	支えあい活動に参加した市民の数	人	15,260			
イ						

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	21年度 (決算)	22年度 (予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 同会は、先の戦争において、心身傷ついた傷痍軍人の傷を癒し、後世の平和を祈って設立された。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 高齢のため、年々会員数が減少している。		
予算額	当初予算額	72				47
	補正予算額					
	予算合計	72	47			
決算額	国庫補助金		この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。		
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	58				
	支出合計	58				

事務事業コード	730113	事務事業名	傷痍軍人会運営支援事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市国分傷痍軍人会									43人	補助金	34	補助金	26	補助金	26
											自主財源	111	自主財源	128	自主財源	128
	合計										145	合計	154	合計	154	
対象地区											自主財源率	77%	自主財源率	83%	自主財源率	83%
2	霧島市横川傷痍軍人会									17人	補助金	12	補助金	11	補助金	11
											自主財源	44	自主財源	61	自主財源	61
	合計										56	合計	72	合計	72	
対象地区											自主財源率	79%	自主財源率	85%	自主財源率	85%
3	霧島市霧島傷痍軍人会									18人	補助金	12	補助金	11	補助金	11
											自主財源	101	自主財源	110	自主財源	110
	合計										113	合計	121	合計	121	
対象地区											自主財源率	89%	自主財源率	91%	自主財源率	91%
4											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
5											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
6											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
7											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
8											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
9											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
10											補助金		補助金		補助金	
											自主財源		自主財源		自主財源	
	合計											合計		合計		
対象地区											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計										78人	補助金負担金合計	58	補助金負担金合計	48	補助金負担金合計	48
											自主財源合計	256	自主財源合計	299	自主財源合計	299
											自主財源率	82%	自主財源率	86%	自主財源率	86%

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
合計																	

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	72
補正予算	
合計	72

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	傷痍軍人会員の福祉の増進、平和の維持等に貢献するものであるため、基本事業の意図に結びつくものである。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	傷痍軍人会員の思いを考慮すれば、市が一定の補助をする事は適当であると思われる。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	現行のとおり。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	現行のとおり。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	傷痍軍人会員の思いを考慮すれば、市が一定の補助をする事は適当であると思われるため、補助金を廃止すべきではないと思われる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	会員数の減少に伴い、市の負担は減少するが、単価を下げると運営に支障が出るため削減できない。 (補助金額=@590円×会員数)
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に係る人件費は、補助金交付・精算のための人件費であり、必要最低限な事務である。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	同会は、市内に居住している傷痍軍人及びその妻が会員となっている任意団体であり、受益者に偏りはない。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  傷痍軍人会員の団結を強固にし、平和な社会を築くという目的達成のため適切な事務事業として評価できる。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	730114	事務事業名	戦没者追悼式開催事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		グループ	政策グループ
施策名	3	地域福祉の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	2	地域住民による支えあいの推進		内線番号	2021
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 — 不明)
	項	1	社会福祉費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	社会福祉総務費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	730114			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成21年度実績				
戦没者を追悼することにより、先の戦争において散華された英霊を顕彰し、戦没者に追悼の意を表すとともに、平和の維持への誓いを新たにす。 毎年実施。 招待者 戦没者遺族・来賓(市議、県議、その他) 主催者 霧島市			事務事業の概要と同様				
			平成22年度計画				
		前年度と同様					
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	戦没者追悼式出席者数	人	237	200	180	180	
イ							
ウ							
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	霧島市の戦没者の遺族	霧島市遺族会連合会の会員数	人	587	520	476	420
イ							
ウ							
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	戦没者に哀悼の意を捧げる。	遺族会会員の出席者数/全出席者数	%	58	56	64	64
イ							
ウ							
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(見込)	
ア	支えあい活動を行う	支えあい活動に参加した市民の数	件	15,260	16,069	13,830	13,830
イ							

(2) 事業費		単位:千円	(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	21年度(決算)	22年度(予算)	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 終戦後、戦没者への慰霊と遺族に対する哀悼の気持ちをささげるため開催された。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 遺族の高齢化が進み、追悼式の参列者が年々減少してきている。	
予算額	当初予算額	150			115
	補正予算額	0			0
	予算合計	150	115		
決算額	国庫補助金	0	この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。	
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	109			
	支出合計	109			



事務事業コード	730114	事務事業名	戦没者追悼式開催事業	担当部	保健福祉部
				担当課	保健福祉政策課

単位:千円	平成21年度 (決算)			平成22年度 (当初予算)			平成23年度 (見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	102		102	105		105	105		105
消耗品費	90		90	93		93	93		93
燃料費									
食料費	12		12	12		12	12		12
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費	7		7	10		10	10		10
通信運搬費									
広告料									
手数料	7		7	10		10	10		10
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	109		109	115		115	115		115

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	109		109	115		115	115		115
計	109		109	115		115	115		115

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成21年度	当初予算	150千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	150千円			

平成21年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	戦没者に哀悼の意を捧げることにより、市民の平和に対する意識の高揚を図るものであるため、基本事業の意図に結びつくものである。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国、県及び他市町村においても同事業を実施しており、開催趣旨からも行政が実施すべき事業である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は、市内の戦没者の遺族であるため、適切である。
	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	遺族会会員は年々高齢化が進んでいることから、向上余地はないと思われる。
B 有効性 評価	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	国、県及び他市町村においても同事業を実施していること、また、遺族等の思いを考慮すれば、本事業を廃止する事は適切ではない。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
	<b>事業費の削減余地</b> ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最低限の経費で実施しているため、削減余地はない。
C 効率性 評価	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、部内職員の協力を得て実施しており、業務時間は必要最低限のものである。
	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は、市内の全遺族会会員が対象であるので、公平公正である。
D 公平性 評価	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 戦没者を追悼することにより、先の戦争において散華された英霊を顕彰し、戦没者に追悼の意を表すとともに、平和に対する市民意識高揚を図るために、適切な事務事業であると評価できる。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
総 括	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

3 今後の方向性 <PLAN>	
<b>(1) 評価結果にもとづく今後の方向性</b>	<b>(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由</b>
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容

事務事業コード	730118	事務事業名	民生委員活動支援事業	担当部	保健福祉部
政策名	5	たすけあい支えあうまちづくり		担当課	保健福祉政策課
施策名	3	地域福祉の推進		グループ	政策グループ
基本事業名	2	地域住民による支えあいの推進		電話番号	45-5111
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	3	民生費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 23 年度~)
	項	1	社会福祉費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	1	社会福祉総務費		民生委員法
	コード	730118			
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input checked="" type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

手段 (事務事業の概要)

民生委員児童委員協議会連合会とは、旧7市町の協議会を取りまとめるために組織された任意団体である。本事業は、同連合会に補助金を交付することにより、民生委員児童委員が行う活動及び運営に対して支援を行うものである。

【民生委員児童委員の主な活動内容】

①地域住民の身近な相談 ②様々な福祉施策やサービス内容の把握・周知 ③必要な福祉サービスが受けられるための援助 ④担当区域内の実態把握 ⑤災害時要援護者及び支援者の選定 ⑥ボランティアの発掘 ⑦安心して子供を産み育てる環境の整備促進と支援 等

補助金・負担金の交付先	霧島市民生委員児童委員協議会連合会	補助金の対象経費	霧島市民生委員児童委員協議会連合会の運営及び活動に要する経費			
活動指標 (事務事業の活動量)		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 相談・支援件数		件	12,233	12,669	12,730	12,850
イ 活動日数		人	42,409	44,161	44,370	44,800
ウ						
対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 民生委員児童委員	民生委員児童委員数	人	276	276	280	280
イ						
意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 住民の実態及び地域の福祉需要等を日常的に把握する。	委員一人あたりの活動日数	日	153	160	160	160
イ						
ウ						
結果 (どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (見込)	23年度 (見込)
ア 支えあい活動を行う	支えあい活動に参加した市民の数	人	15,260	16,069	13,830	13,830
イ						

(2) 事業費

単位：千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	21年度 (決算)	31,740	22年度 (予算)	34,749	この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和23年7月。 民生委員法施行後に事業開始。	事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 高齢者世帯や子育て世帯等をとりまく環境の変化、住民の福祉ニーズの多様化のため、民生委員児童委員の活動内容が複雑化してきている。このような状況から、新たな民生委員児童委員の推薦を辞退されるケースが多く、委員の確保が大変困難になっている。
	補正予算額						
	予算合計	31,740	34,749				
決算額	国庫補助金					この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 高齢者・少子化対策が問われる中、地域住民の相談窓口として民生委員児童委員の存在は大変大きいという市民の意見がある。	この事務事業に対する議会から出された意見 特になし。
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	31,740					
支出合計	31,740						

事務事業 コード	730118	事務 事業名	民生委員活動支援事業						担当部	保健福祉部
									担当課	保健福祉政策課

運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成21年度 (決算)		平成22年度 (予定)		平成23年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市民生委員児童委員協議会連合会 276人									補助金	31,740	補助金	34,749	補助金	32,200
										自主財源	21,386	自主財源	21,476	自主財源	21,739
	合計									53,126	56,225	53,939			
自主財源率									40%	38%	40%				
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
自主財源率															
計									276人	補助金負担金合計	31,740	補助金負担金合計	34,749	補助金負担金合計	32,200
									自主財源合計	21,386	自主財源合計	21,476	自主財源合計	21,739	
									自主財源率	40%	自主財源率	38%	自主財源率	40%	

負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名	負担金額	平成21年度 (決算)	平成22年度 (計画)	平成23年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

平成21年度予算の状況

< 補正予算内訳 >

単位：千円

当初予算	31,740
補正予算	
合計	31,740

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会福祉の増進に努める民生委員児童委員の活動を支援することは支えあい活動につながる。
	<b>公共関与の妥当性</b> ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場にたつて相談に応じ、必要な援助を行っている民生委員児童委員が行う活動及に対する支援であるので妥当である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象を変更する余地はない。 意図については、民生委員法に規定する「民生委員の職責」を鑑み妥当である。
B 有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	平成21年度に民生委員児童委員に対し、「65歳以上の方のリスト」を配布した。同リストの活用により、高齢者の実態調査及び災害時援護者の把握等につながっているところである。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	民生委員児童委員の活動に多大な影響を及ぼすこととなり、結果として地域福祉の衰退につながる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	民生委員児童委員は無報酬で活動しており、補助金の使途は活動費に限られている。そのため、補助金の削減は適当でないと思われる。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の人員で事務処理をしているため、削減余地はない。
D 公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	民生委員児童委員協議会連合会に対し補助金を交付し、同会を通じて全委員に対し活動費が支給されているため、公平公正である。
総括	<b>(1) 1次評価者(課長)としての評価結果</b>		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b>  民児委員は、ますます複雑多様化する住民の福祉ニーズに対して、最も身近なところで住民の立場にたつた活動を行う必要があることから、適切な事務事業であると評価できる。
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	

### 3 今後の方向性 <PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒ (3) 具体的な改善計画は不要	

#### (3) 具体的な改善計画 (1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

平成22年度の取組み概要及び期待される効果	平成23年度に取り組むべき具体的な内容